

2024年度「光華EDUALプログラム（キャリア形成学部、応用基礎レベル）」 自己点検・評価報告書

2025年 10月9日

京都光華女子大学 自己点検評価委員会

1. 点検・評価の実施と結果

本学キャリア形成学部「光華EDUALプログラム（応用基礎レベル）」は、2021年度の実施内容を文部科学省に申請し、2022年度に「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リベラルアーツ教育科目）」として認定を受けた。また、2023年度のカリキュラム改編（リベラルアーツ教育科目・キャリア形成学科専門科目）に伴い、2023年度末にカリキュラム変更の届出を行った。

2024年度の実施状況を点検・評価し、応用基礎レベルのデータサイエンス教育を概ね適切に実施していることを確認した。詳細は以下のとおりである。

2. プログラムを構成する科目と履修者数

本プログラムを構成する科目の、2024年度の履修状況は表1のとおりであった。

表1 プログラムを構成する科目と2024年度の履修状況

区分	科目名	配当年次 ／開講期間	履修者数				単位 修得率
			1	2	3・4	合計	
必修	データサイエンス入門※ (情報リテラシー応用)	1／後期	45	4	0	49	96%
	AIへのアプローチ	2・3／後期	-	15	2	17	88%
	ビジネスデータ分析基礎 (コンピュータ活用C)	2／前期	-	5	28	33	94%
	データサイエンス実践 (データ解析入門)	2／後期	-	5	12	17	65%
選択	数的処理の基礎※	1／後期	1	2	3	6	83%
	経営学のための数学基礎 (数と社会)	1／後期	1	1	14	16	88%
	くらしのなかの統計学※	1・2／後期	5	2	3	10	70%
	テキストマイニング (コンピュータ活用Ab)	2／後期	-	0	5	5	80%
	プログラミング入門※	2・3／後期	21	2	3	26	92%
	経営情報	2・3／後期	-	9	17	26	73%
	社会調査法	3／前期	-	-	28	28	93%
	社会調査実習I	3／前期	-	-	3	3	100%
	社会調査実習II	3／後期	-	-	1	1	100%
	データサイエンス発展 (データ解析応用)	3／後期	-	-	10	10	90%

※印はリベラルアーツ科目（キャリア形成学科のみの数値）

3. プログラムの修了要件と修了状況

本プログラムの修了要件は、プログラム必修4科目5単位に加え選択科目から3単位以上、合計8単位以上を取得することである。修了者には、選択科目3単位以上でゴールド(★★)のバッジ、7単位以上でピンクゴールド(★★★)のバッジと修了証を発行している。ゴールドレベル修了は、2024年度に新たに14名増え、累計で30名となった。また、ピンクゴールドレベルも7名増え、15名となった(表2)。

本プログラム1期生の2020年度入学生の卒業時点での応用基礎レベル(★★)修了率は9.5%、2期生である2021年度入学生の卒業時点での修了率は9.9%(8/81)であった(分母は卒業生数である)。また、2022年度入学生の3年次末時点での修了率は18.3%(11/60)である。

表2 応用基礎レベル(キャリア形成学部)の修了者数(2024年度末まで)

	ゴールド(★★)	ピンクゴールド(★★★)
2020年度入学生(106名)	9	3
2021年度入学生(86名)	8	8
2022年度入学生(60名)	11	3
2023年度入学生(44名)	2	1
合計	30	15

4. 修了者数、修了率向上に向けた計画の達成・進捗状況

2020年度入学生および2021年度入学生の卒業時点でのプログラム修了率は10%程度であったが、2022年度入学生については3年次末時点で18.3%となり修了率が大幅に増加した。今後も、履修ガイダンス等において本プログラムの目的や魅力を周知するとともに、履修しやすい時間帯での開講等の工夫を行い、修了率20%~25%程度を目指したい。

以上